

港湾經濟研究

日本港湾經濟学会年報

NO. 1

1963

日本港湾經濟学会編

序

日本港湾経済学会会長 矢野 剛

経済を通じて港湾をみる港湾経済の研究は、技術や行政などの面からの港湾研究に比べると非常に立ち遅れている。しかも外国貿易に高い依存度をもつわが国としては経済成長に伴う臨海工業ならびに工業地帯造成と絡んで日本経済と日本港湾との関係は、個別経済・国民経済・国際経済・等の広い視野から見直されなくてはならない段階にきていると思われる。そこで港湾の経済学的研究の完成をめざし、かつまた広範囲の隣接科学の各専門学者との間における協力・共同研究も願わしい。このような観点から1962年10月16日に日本港湾経済学会が多様の使命を担って誕生し、まず活動の第一着手として初の総会と研究発表会が行なわれた。そのときの研究発表と、会員によるその後の研究成果ならびに資料などを一纏めにして、ここに刊行をみるに至ったことは、まことによろこばしい。今後とも学会の任務を十分に果たすために、より一層努力して行かなければならないと思う。

目 次

序	矢 野 剛	
---------	-------	--

研 究

本邦戦時港湾施策

—主として民間港湾企画の推移—

.....	矢 野 剛	1 頁
-------	-------	-----

港湾財政の問題点	柴田 銀次郎	35 頁
----------------	--------	------

港湾設備の増強と地域開発	伊 坂 市 助	51 頁
--------------------	---------	------

港湾における新しい労働管理の概念	高見玄一郎	62 頁
------------------------	-------	------

港湾運送業の現状	松 本 清	72 頁
----------------	-------	------

衣浦港の交通	松 浦 茂 治	86 頁
--------------	---------	------

港湾経済の本質	北 見 俊 郎	107 頁
---------------	---------	-------

港湾施設に与えた損害に対する

船主の責任と海上保険

—ロンドン保険協会の P.I. クローズについて—

.....	今 泉 敬 忠	122 頁
-------	---------	-------

文 献 紹 介

「イギリス主要港湾に関する調査委員会

報告書」(ロッチデール報告書)	中 西 睦	143 頁
-----------------------	-------	-------

「神戸港における港湾荷役経済の研究」	寺 谷 武 明	151 頁
--------------------------	---------	-------

学 会 記 録

日本港湾経済学会設立趣意書	156頁
日本港湾経済学会会則・役員	158頁
学会記事（創立総会・第1回大会）	165頁
会 員 名 簿	170頁
編 集 後 記	178頁

文 献 集 介